特殊ネジと特殊ボルトの開発専門商社
TSURUGA
株式会社ツルガ

金属産業新聞

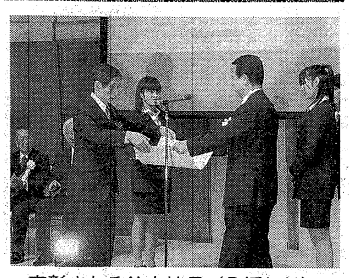
第3344号　週刊（毎週月曜日発行）　(2)

2008年(平成20年)3月3日(月曜日)　（昭和21年7月30日 第三種郵便物認可）

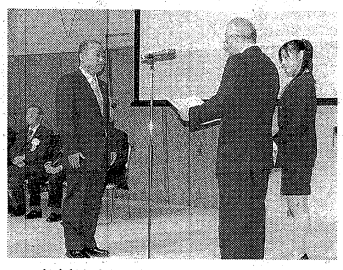
IT経営力大賞2008

八幡ねじが大賞に輝く

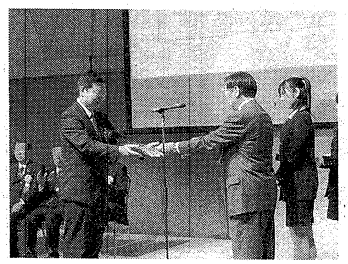
大津鉄工（優秀賞）、ツルガ（奨励賞）も



表彰される鈴木社長（八幡ねじ）



表彰される田村専務（大津鉄工）



表彰される敦賀社長（ツルガ）

経済産業省創設の「中小企業IT経営力大賞2008」記念式典・表彰式が2月22日、港区虎ノ門パストラルにおいて開催、栄えある第1回大賞（経済産業大臣賞）に㈱八幡ねじ（愛知県北名古屋市、鈴木建吾社長）が輝いた。

また、大津鉄工㈱（愛知県弥富市、大津尚彦社長）が優秀賞、㈱ツルガ（東大阪市、敦賀伸吾社長）が審査委員会奨励賞を受賞し栄に浴した。

記念式典では、八幡ねじを含む大賞企業3社による事例紹介、パネルディスカッションを開催。

鈴木社長は会社概要、オンライン受注からはじまった同社のIT利用実践の経緯を説明。今後は経営理念である三方善と受賞ポイントとなった「YaCS（全社統合生産システム）」の融合を進めさらなる出荷品質・業務効率の向上、グローバル化を目指すとした。

次のパネルディスカッションで鈴木社長は「早い時期からコンピュータ化に興味はあった。しかしコストパフォーマンスが悪く実際に導入したのは80年代から。当初のシステム運用では人材教育に一番苦労したが、「YaCS」の見える化・アメーバ化により解消できた。今では現場サイドに任せられる全体最適のシステム構造となっている」などIT経営の取組みを話し、社員の意識改革については「失敗を恐れず開発に挑戦させている。アメリカ的ではなく、義理人情の日本人に適したIT経営が重要だと考えている」と主張した。

表彰式では、主催者である甘利経済産業大臣が挨拶。激励の言葉を述べたのち受賞企業に表彰状ならびに記念品が授与された。各社の受賞事由は次のとおり。

▽㈱八幡ねじ・大賞（経済産業大臣賞）

JANコード化による自動倉庫管理と効率的な入庫・出荷・配送を業界に先駆け導入した。また全社統合生産システム"YaCS"により業務単位でのITシステムを統合。経営情報の可視化、品質向上、業務効率化を実現した。独自開発システムで多品種少量出荷や出荷品質向上の成果を挙げ、ホームセンター取引においてはEDI比率98%と極めて高い。先駆的にIT利用を実践して成果に結びつけている。

▽大津鉄工㈱・優秀賞（ITコーディネータ協会会長賞）

ICタグの導入と自社開発の基幹業務システム「O-TOS」を軸に、各業種間情報のリアルタイムな連携をはかり、各業務の効率化、生産性を上げ、売り上げと収益性の向上につなげている。基礎工事業界初の共通EDIの導入に向けて連携企業間で中心的役割を果たす。社内のみならず関連業界全体の最適化に向けたビジネスモデルを構築し実現に努力している。

▽㈱ツルガ・審査委員会奨励賞

特殊ねじの企画開発専門商社となるビジネスモデルの実現にHPの有効活用や、SaaSによる営業支援システムを導入。営業活動の効率化、顧客満足の向上をはかっている。ターゲット市場を定義し、情報系・業務系の各システムを活用しIT経営を展開している。

2008年3月3日、金属産業新聞に「関西IT活用企業百撰」と「中小企業IT経営力大賞」の受賞について掲載されました